

サステイナブル時代の新常識

～在庫処分shoichiの廃棄ゼロへの挑戦～

 shoichi

shoichiは廃棄ゼロを実現し
サステイナブルな世界の実現に
貢献します



在庫は無くなるだろうか？

→在庫処分会社社長の観点

■在庫は無くならない

- ・お客様が欲しいシーズンに
良いクオリティの商品を、
リーズナブルに販売するためには
 - 見込み生産しか無い。
 - 大量生産の方が品質安定。
 - 在庫は無くならない。
 - 期末には 必ず余る。

■ 残品に対するアパレル・メーカー様の想い

- ・アパレル様は、本来廃棄したくない
サステイナブルを実現したい。
環境に悪影響を与えたくない。

→しかし、
ブランド毀損を防ぐため、
仕方なく廃棄している。
- ・shoichi→問題解決し、廃棄ゼロを実現。

【本日のテーマ】

在庫処分のトレンドを知り

Shoichiと取り組み

サステイナブルな世界の実現を

- 
- ① shoichiはどんな会社？
 - ② 在庫処分トレンド
 - ③ Ethical
 - ④ CSR TASUKEAI PROJECT

(株)shoichi

在庫処分**23年**

取引先**2000社**

年間**1100万枚**
→專業日本1位
(おそらく)



アパレル業界 売上高ランキング(2017-18年)

【取引先】6割以上の法人様 商品取り扱い実績あり

その他NBメーカー

1 ファーストリテイリング	11 良品計画 ※1	21 マツオカコーポレーション
2 しまむら	12 グンゼ	22 はるやまHD
3 青山商事	13 西松屋チェーン	23 サックスバーHD
4 ワールド	14 パルグループHD	24 ハニーズHD
5 オンワードHD	15 ライトオン	25 ルックHD
6 アダストリア	16 コナカ	26 サマンサタバサジャパンリミテッド
7 AOKIホールディングス	17 バロックジャパンリミテッド	27 マックハウス
8 ワコールHD	18 レナウン	28 ダイドーリミテッド
9 TSIホールディングス	19 クロスプラス	29 タカキュー
10 ユナイテッドアローズ	20 三陽商会	30 アツギ

Shoichi 掲載 メディアリスト

(一部抜粋)



- 
- ①shoichiはどんな会社？
 - ②在庫処分トレンド
 - ③Ethical
 - ④CSR TASUKEAI PROJECT

■在庫処分業とは

- ・アパレル、メーカー様の残品を
「大切にお預かりする」請負業である。

- ・**信念・矜持**

アパレル様がしっかりビジネスされた後に、
どうしても残った大切な商品を預からせていただく。
インフラサービスである。

- ・売ってから買う会社→ブローカー様
買ってから売る会社→shoichi

■在庫処分 4要素

- ・4要素 「安全、速度、価格、物量」
→効率よく、サステイナブル

「**安全**」「**速度**」
を大切にする会社は、
shoichiを選んでいる。

■在庫処分 4要素

- ・「価格」～他にいい売り先ない？～
既存販路、既存店セール
催事、ファミセ、フラッシュセール
が高い。
- ・shoichiは高い。(相見積もり70%勝利)
shoichiで「価格」を上げる方法は?
→販路を容認する
→それなら自社でやったほうが良い

■在庫処分業

- ・在庫処分会社はどんどん減っている。
→事業承継、新規参入の難しさ。
→自社でやるべきか？ →NO

■在庫処分トレンド■ ■イメージが必要な時代に■



■在庫処分 トレンド

- ・「安全、速度、価格、物量」で
→SDGsもあり、「安全」を選ぶ会社増。
→バーバリー事件以降更に加速。
- ・残品廃棄していたアパレル様
廃棄をやめ、shoichiに依頼したケース
直近2年で30件
- ・割合
日本資本が多い。
外資依頼は少ない。まだ廃棄多い？

■トレンド コロナ

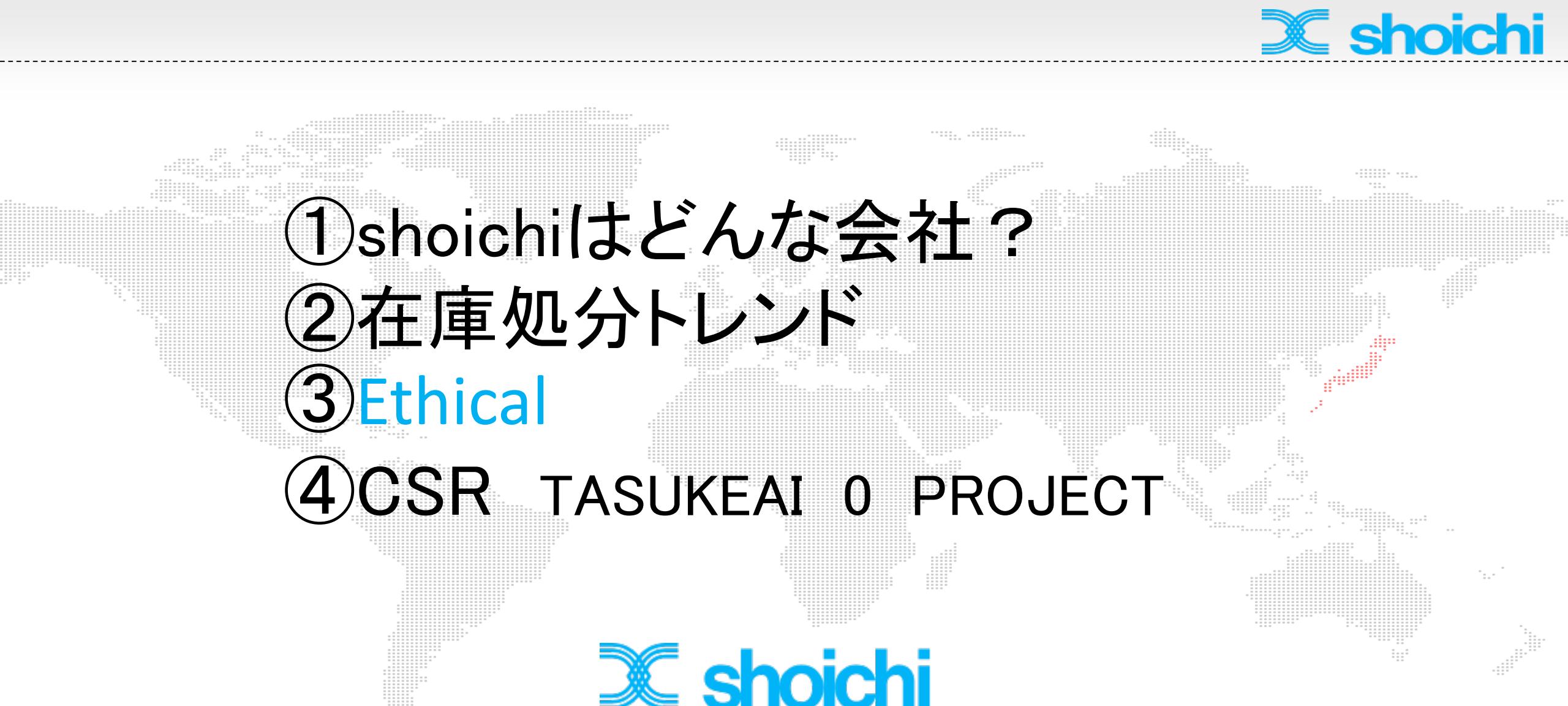
- ・休業要請により、春先、
店舗、ファミセができなかつた、
春物消化が奮わず。
→倉庫圧迫の要因に。
- ・他物販も同様の状態。倉庫家賃が急上昇。
保管コストがかさみ、
来年売れるかわからない在庫保有するより
処分する会社が増えている。

■トレンド オフプライスストア

- ・百貨店、地方百貨店、ファッションビル様とのコラボレーション事業
→催事(弊社の名前は出さない)
- ・アパレル様とも協業中(商品提供)



Shoichiの提案

- 
- ①shoichiはどんな会社？
 - ②在庫処分トレンド
 - ③Ethical
 - ④CSR TASUKEAI PROJECT

■サービス名■



Ethical

エシカル（仮）

- ① Rewear
- ② Tagrename
- ③ Recycle
- ④ Reuse
- ⑤ Remake



最も

「安全」

に集中した提案

 shoichi

<ご提案>



商品入荷



販売

残品廃棄

shoichiに一括引き渡し
ローコストで廃棄ゼロを実現



shoichi廃棄削減

- ①
- ②

海外販売
一般転売

処分手法 ブランド毀損 相関図

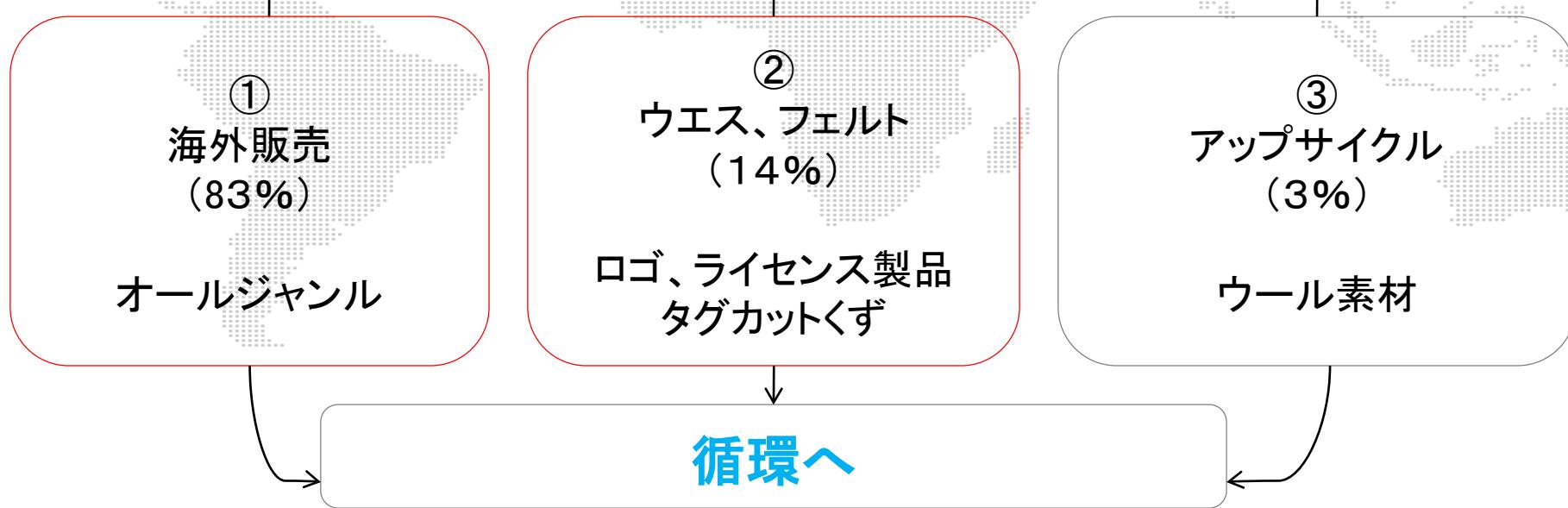
		販売 国内	販売 海外 ○	廃棄		
		オンライン販売 OK	オンライン販売 NG	オンライン販売 OK	オンライン販売 NG ○	廃棄
タグ	タグ そのまま	4 毀損 可能性 高い	4 毀損 可能性 高い	3 毀損 可能性 有り コアユーザーは デザインでわかる	2 毀損 可能性 低い	1 毀損しない
	タグカット タグ付け替え ○	3 毀損 可能性 有り	3 毀損 可能性 有り	2 毀損 可能性 低い	1 毀損しない Shoichi提案 ○	1 毀損しない

< 3つの仕分け 循環処理 >



オール
ジャンル
OK

Shoichi 仕分け



1, 海外自社店舗で販売。
海外卸も販路をハンドリング。

2, インターネットを使わず
店舗のみで販売



マレーシア
そごう



マレーシア
ファーレンハイツ

海外 7店舗 展開

Colors マレーシア・ファーレンハイト88店

Colors カンボジア・プノンペン店

Colors マレーシア・ジョホールバルそごう店

Colors マレーシア・伊勢丹店

Colors マレーシア・三井アウトレット店

Colors マレーシア・クアラルンプールそごう

Colors カンボジア・シェムリアップ店



カンボジア
プノンペン
BRIDGE MALL

3, ブランドを特定しやすい、
ロゴ、プリント商品を
仕分け、ウェス＆フェルトに。



5, タグは環境に配慮した
リサイクルポリ使用



6, タグの縫い糸も
リサイクル糸を使用します。



7. タグカット後のタグ、糸は
フェルトに。

工程で出た廃材等も
100%再利用致します。



備考 海外対応

今後は国内外の生産工場から出る、
B品、廃棄製品にも、世論言及が予想される。
shoichiは下記国内で対応可能。

- ・バングラデシュ
- ・カンボジア
- ・中国
- ・ベトナム
- ・マレーシア

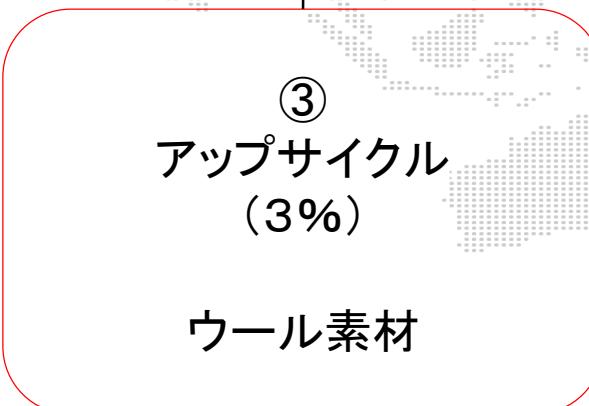
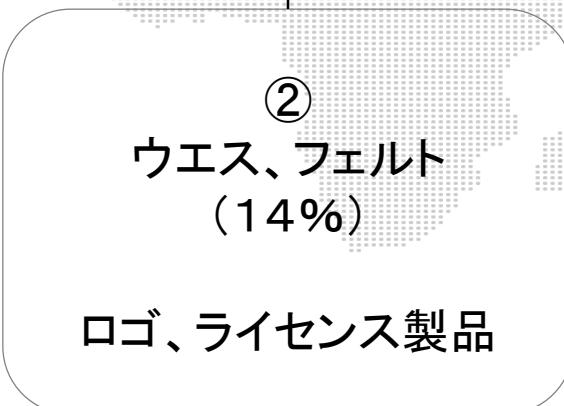
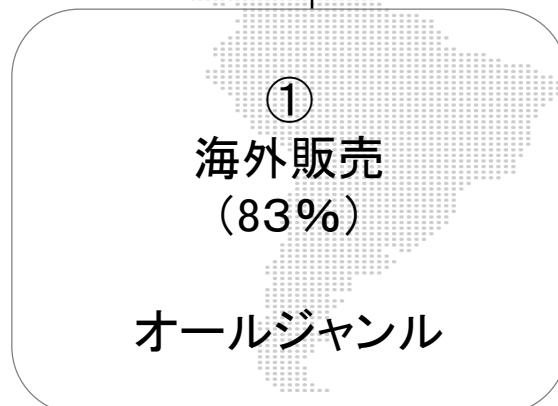


< 3つの仕分け 循環処理 >



オール
ジャンル
OK

Shoichi 仕分け



循環へ

アパレル在庫処分のショーイチが完全100%リサイクル素材のメード・イン・ジャパンニット クラファンに応募殺到

[新ブランド・新ライン](#) [サステナビリティ](#) [資金調達](#) 2019/10/25

塙山 泰明

アパレル在庫処分大手のショーイチ（大阪、山本昌一社長）は、100%リサイクル糸を使ったニットブランド「マーサ エシカル（MARTHA ETHICAL）」をスタートした。「アンテプリマ（ANTEPRIMA）」出身のデザイナーと組み、10月21日にクラウドファンディング「マクアケ（MAKUAKE）」でスタートした同プロジェクトは48時間で目標金額の50万円を達成、25日現在で105人の支援者を集め、支援金額は58万8980円になっている。

「マーサ」はミラノコレクションブランド「アンテプリマ」の元チーフデザイナーの出口雅一氏が手がけるブランド。ショーイチとコラボレーションした新ライン「マーサ エシカル」では出口氏がデザインを監修。日本の毛織物産地である愛知県一宮市でリサイクルウール80%、リサイクルナイロン20%の混率のニット糸を生産、大阪のニット工場で編み立てからリンクまで一貫生産する。

ニット糸だけでなく縫い糸や洗濯ラベルなどにもあらゆる副資材にもリサイクル糸を使っており、商品に関わるすべての素材を100%リサイクル由来とした。また、日本製にこだわる一方で、男女兼用のハイネックブルオーバーで5980円、同Vネックで5280円、大判ストールで4980円、ニットワンピで



- ・ウール製品を仕分け
アップサイクル致します。

- ・貴社廃棄製品からのアップサイクル
製品もご提供させていただけます。
(OEM承ります。)





廃棄生地を原料としたカットソー エシカルライフ

ETHICAL
LIFE ≡

カットソーシリーズ

さあ、エシカル
はじめよう

ETHICAL LIFEは
廃棄繊維をゼロを目指す
TASUKEAI PROJECT から生まれた
みんなの手が届く、エシカルな取り組み

"高品質なのに、安価"

その理由は
各ブランドと工場との生産契約の中では
廃棄処分されていた大量の残生地

これを捨てずに利用した
ETHICAL LIFEの製品を手にすることで
あなたにできるエシカルが始まります

捨てられるはずだった「余り生地」を使った
カットソーシリーズができました！



<https://item.rakuten.co.jp/a-afashion/c/0000000546/>

廃棄生地を原料とした SDGSジーンズ



<https://lfo-shop.jp/view/item/000000003971>
<https://lfo-shop.jp/view/item/000000003972>

■お取引に関して

貴社文化をヒアリングし

要望をすべて伺います

ブランド戦略に応じ カスタマイズ可能

←買取価格が安い 買取価格が高い→

ヒアリング項目

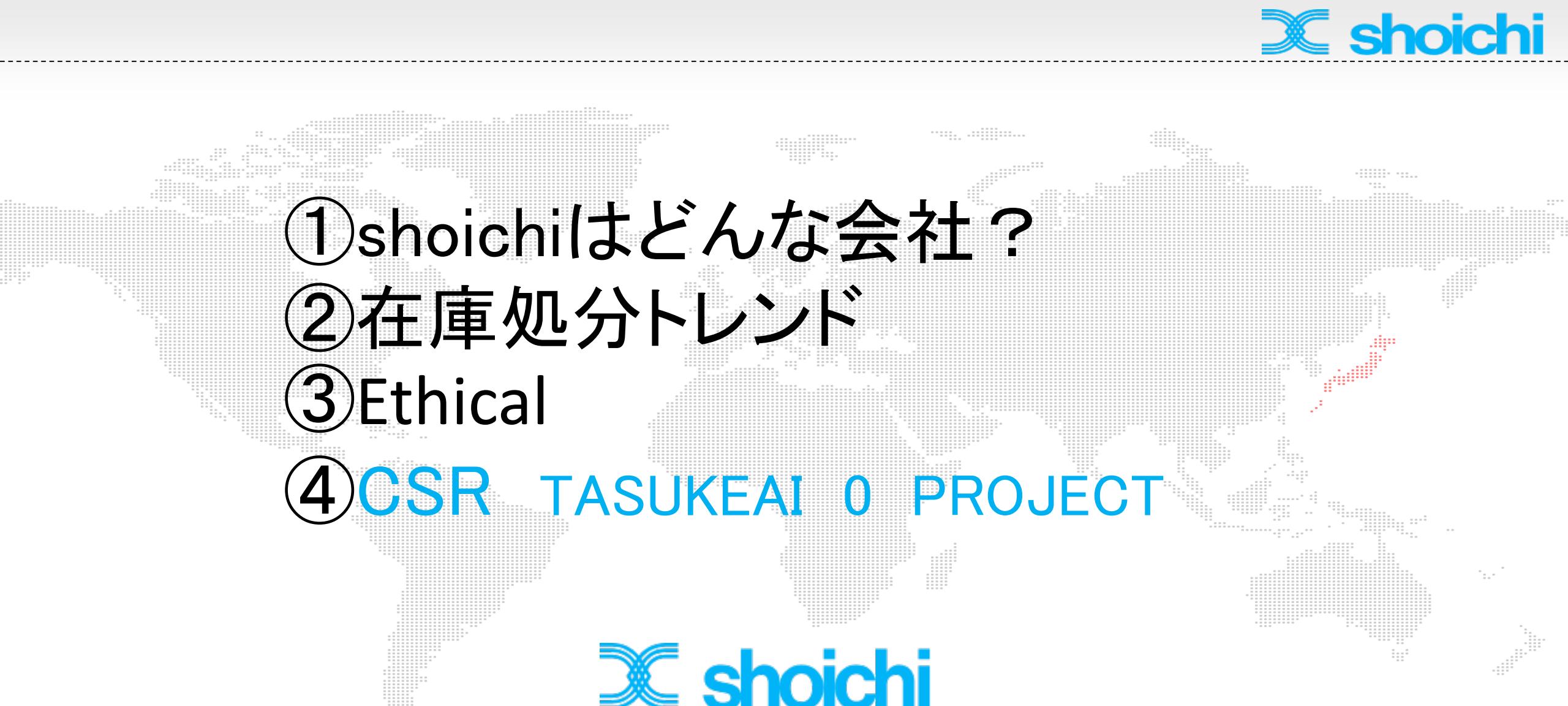
リスト	なし	あり
販路	海外のみ	国内OK
襟ネームカット	リネーム	なし
洗濯ネームカット	リネーム	なし

■ 明細

- ・明細はマストではありません。
- ・明細が無い場合
→弊社でカウント、報告致します。

■ 数量ミニマムなし

- サンプル品、B品、C品、OK
- 雑貨も全てOKです。
- 什器引取も可能

- 
- ①shoichiはどんな会社？
 - ②在庫処分トレンド
 - ③Ethical
 - ④CSR TASUKEAI PROJECT

SDGs CSR活動



<https://shoichi.co.jp/sdgs.php>



1, 子供への貢献

2, 廃棄在庫 を減らしたい

→動画へ

<https://storage.cloud.google.com/staging.adroit-chemist-211614.appspot.com/douga/TASUKEAI%200%20PROJECT%20VTR%20vol.2.mp4>



PDF

<https://drive.google.com/file/d/1j25k76xdoZNgbuo9TOxMy2P0eOaea43R/view?usp=sharing>

本日はお時間頂き、有難うございました

貴社の大切な商品をお預かりし

誠心誠意を持ち

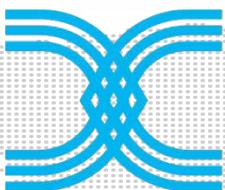
お取り組みさせていただきたいと

考えております。

ご連絡をお待ちしております。

株式会社shoichi 代表取締役
山本 昌一





shoichi

会社名	株式会社shoichi
住所	本社 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-6-5 ファースト船場301 (TEL) 06-6258-6112 (FAX) 06-6258-6113 東京支社 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 SAKURA'sビル5F (TEL) 03-6869-8173 物流倉庫 〒557-0045 大阪市西成区玉出西2-16-21 (TEL) 06-6653-0575 (FAX) 06-6653-0576
HP	http://shoichi.co.jp/
代表	代表取締役 山本 昌一
創立	2005年1月21日
資本金	4000万円
従業員数	51名(正社員20名 外注11名 パート20名 2018年1月1日現在)
売上	16億円(グループ会社合計)
事業内容	法人在庫処分業務、アパレル・雑貨等の小売、卸、アパレル・雑貨等の商品生産・OEM・プロモーション
免許	古物商許可番号 大阪府公安委員会 第621070161240号
取引法人数	251社(内アパレル関係232社)(2018年1月1日現在)
取扱ブランド	439ブランド(2018年1月1日現在)

History

- | | | | |
|-------|---|-------|------------------------------|
| 2000年 | ブランドユーズドアパレルを取り扱うECショップを代表が開業。 | 2011年 | 株式会社に改組。社名を「株式会社Shoichi」に。 |
| 2003年 | 売上高が1億円となる。 | 2012年 | taobaoにて中国越境EC開始。 |
| 2004年 | 法人在庫処分サービスを開始、インポートアパレルを中心に取り扱う。 | 2014年 | 小売店舗「COLORS」展開を関西にて開始。 |
| 2005年 | 「有限会社shoichi」を設立し法人化。 | 2015年 | 売上高10億円を突破。 |
| 2005年 | ブランドユーズドアパレルから撤退。法人在庫処分サービスに集中。 | 2016年 | 大阪市玉出に300坪の自社物流倉庫を取得。 |
| 2006年 | ECショップ「Love Fashion Outlet」bidders店、Yahoo!ショッピング店をオープン。 | 2016年 | 東京支社開設。 |
| 2007年 | 在庫処分サービスにて、国内ブランドの取り扱いが増加。 | 2017年 | 大阪市船場にて「shoichi卸問屋」を出店、営業開始。 |
| 2008年 | ECショップ 楽天店をオープン。 | 2018年 | カンボジアに、「COLORS」出店。 |
| 2009年 | ベトナム ハノイに、「Kana mode feeling Tokyo」出店。 | 2018年 | 小売店舗「COLORS」展開を東京にて開始。 |
| 2009年 | オリジナルブランド「MARTHA」リリース。 | 2018年 | 大阪市南本町に本社移転。 |
| 2010年 | 大阪市西区に本社移転。 | 2018年 | オンライン卸ECショップ「アパレル卸.com」開店 |

【TV】 NHK(クローズアップ現代)

テレビ東京(ガイアの夜明け)

テレビ東京(ワールドビジネスサテライト)

他、テレビ朝日、読売テレビ、毎日放送、朝日放送(ニュース番組、情報番組等)多数。

【新聞】 朝日新聞、日経新聞

【その他】 日経ビジネス、織研新聞 他多数